



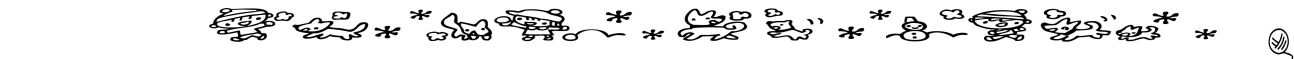
1月

令和6年1月5日

ちびっこの森通信 vol.218

☆☆今月のテーマ☆☆

- ・冬の健康習慣を身につけて寒さに負けずに元気に遊ぶ
- ・お友だちと一緒にルールを守ってお正月遊びを楽しむ



～今月の園内学習～

- ・足し算…4の段
- ・掛け算…4の段
- ・数字カード…1～20の数字
- ・食べ物カード…今月の旬な食べ物
- ・漢字カード…小学校1学年で習う漢字30
- ・魚への漢字…「あじ」「いわし」
- ・木への漢字…「えんじゅ」「はぜのき」
- ・歴史カード…「源頼朝」ほか
- ・ひらがなカード…「さ行」
- ・国旗カード…日本ほかアジア各国
- ・地理カード…静岡県ほか中部地方
- ・声に出して読みたい日本語…論語ほか
- ・英会話…動物、曜日、季節の種類
- ・絵画カード…「ゲルニカ」他

～保育のポイント～

1997年5月、社会を震撼させた神戸連続児童殺傷、2004年6月の佐世保小6女兒同級生殺害事件や2005年2月寝屋川小学校教諭殺人事件などの残虐な事件の低年齢化は日本だけでなく、今や世界的規模で起きているのが現状です。その要因を解き明かす一つの手がかりの1つが著されている「脳内汚染(岡田尊司著)」をご紹介します。まず、寝屋川調査(寝屋川市を中心に東京、大阪、長崎を対象者4,762人に対し、有効回答数3,555人)が紹介されていて、それは中学生とその保護者にメディアの影響を調査したもので長時間ゲームやネットに依存する子とそうでない子を比較した調査結果として前者が認知や情動、行動の傾向について以下の人格の特性が挙げられています。(1)否定的な自己像と現実的課題の回避、(2)対人関係における消極性、(3)二分法的な思考と過度な完璧主義、(4)対人不信感や基本的信頼感の乏しさ、(5)傷つきや復讐へのとらわれ、(6)自己特別視の傾向、(7)無気力・無関心な傾向、(8)依存心の強い傾向、(9)多動性、衝動性、不注意などが列挙されています。本書の内容を簡潔にお伝えできないもどかしさと「ネット主流時代」に逆行するような内容で恐縮ですが、ゲームやネットなどの映像メディアに(5～10年といった)長期間における連日長時間に及ぶ使用によって生じる影響(中毒)として、感受性低下による感覚麻痺で無気力・無関心になるとともに、過敏で傷つきやすいという相反する心理状況が内包されるとのこと。その為、人付き合い等を避けがちになるといった内閉的な傾向が強まっていくなどが記述されています。今後のデジタル社会におけるメディアとの関わり方について一考に値するのではないかと思います、ご紹介いたします。



さくら組だより



寒暖差で悩まされる今冬ですが、そんな状況にも負けずに元気一杯なさくら組のみんなは公園遊びが大好き。「今日はブランコ～」と日々の遊びプランが各自あるようで思い思いの遊具で楽しむ様子が見られます。冬には上着を着用することが多くなりますが、自らファスナーを上げ下げしたりして頑張る姿が見られます。時折、北からの突風で公園を敷き詰めていた葉っぱが吹き飛ばされてしまい、「葉っぱ、ないねえ～」と公園の変化にも敏感なところを見せながら、かけっこしたりして寒さを吹き飛ばしています。また、こどもたちのお気に入りJRなどの電車見学ができる五日市駅へのお散歩となっています。また、最近始まった毛筆遊びでは、毛筆の力加減で半紙に広がるモノクロ世界を楽しんでいます。クリスマス会ではその由来にちなんだ〇×ゲームで盛り上がり、「サンタさんは夜だけでなくお昼も活動しているんだね?!」と素朴な疑問を挟みながらもプレゼントに笑顔が自然と広がり、楽しいひとときとなりました。



ひまわり組だより



寒さが徐々に厳しくなってくるにつれ、この時季特有の感染症が広がる気配を見せていますが、幸い園で広がることなく年越しができたので、この流れで今年もスタートできればと思います。先月のピクスの一つは音楽教室で今回はこども達が楽器を見て「どんぐり(またはギター)みたい」と第一印象を口にしたマンドリンとピアノの演奏会でした。みんなの馴染みの楽曲を間近で演奏していただけるので臨場感たっぷり毎回、感じ入ることが多いものとなっています。またクリスマス会を前に「サンタは何処から来るの?」、「この近くに住んどるの?」に始まり、物知りの子が「外国から来る」って絵本で見たことがあるといった話題でもちっさりでした。当日は出し物に見入ったり、自分たちの製作物の発表会で自分の作品を客観的に「ハサミで切ったんよ」とみんなに説明し、みんなと苦労話や良さを共有することができていました。最後は、出張・サンタクロースの登場でお目当てのお菓子一杯のプレゼントをゲットし大喜びとなり、楽しいひとときでした。今年もいろんなことにチャレンジしながら元気に過ごしていきたいと思っています。



ゆり組だより



諺「光陰矢の如し」とはよく言ったもので年長のみんなの園生活もいよいよ最終コーナーに差し掛かってきました。就学期に向けた(お昼寝なしの)生活リズムの定着の傍ら、お昼寝時間のひらがなや数字のなぞり書き、書道教室での正確で丁寧な書き順を踏まえたひらがな書きでは先生のしっかりとした指導の下、随分と成長の跡が見られるようになってきているので引き続き取り組んでいきたいと思っています。先月はクリスマスに向け、自然素材の松ぼっくりでリースづくりをし、最後には絵の具でカラフルに色付けをして大満足の作品を作り上げることができていました。当日、鈴やタンバリンで「あわてんぼうのサンタクロース」の曲に合わせて楽しく賑やかな音色を奏でて盛り上げてくれていました。サンタクロースがプレゼントを届けにあっちこっちに行かないといけなことを知り、「頑張ってるね!」と心優しい言葉をかけていたのは微笑ましく感じました。最後に、お正月遊びのカルタづくりでは覚えてのひらがなを惜しげもなくスラスラと書いて準備できていたので年明けが楽しみな限りです。これから最後の仕上げをして、みんなが自信たっぷりに就学していけるように見守ってきたいと思います。



～食事マナーで楽しく美味しくいただきます!～

本格的な就学生活に入る前の保育園で是非とも身につけておきたいことの一つに食事マナーがあります。今回は、ご家族の方と外食する機会もあると思いますので他の方への配慮は必要で、正しい食習慣の下で楽しい食事にも繋がっていくと思いますのでご紹介したいと思います。(1)食事の挨拶：これは動植物すべての命をいただくことに感謝するもので食前の手を合わせて「いただきます」に食後にも同様に手を合わせ「ごちそうさまでした」と元気に挨拶するようにしましょう。(2)食事の姿勢：嚙む力や消化吸収にもいいことから椅子の奥まで座り、背筋がピンと伸びているかなどに気をつけていきたいです。(3)食事の食べ方：お口に食べ物を入れたらお喋りなどせずにお口を閉じて嚙むようにしましょう。食べものがポロポロとこぼれる元ですし、ご飯とおかずと汁ものを交互に食べる三角食で味覚を育てるようにしましょう。(4)食器や食具の使い方：茶碗などの食器は持って食べ、食具は月齢の発達に応じたものを無理なく使用できるようにしましょう。(5)食事中は立ち上がらない：食事中に立ち上がらないようにトイレは事前に済ませ、集中できるようにしましょう。幼児にありがちなのが「遊び食べ」ですが、これは行儀が悪いので集中できるようにしていきましょう。これらは園の食事中に適宜適切にお話していますのでお家でも同様にしていただけると食事マナーが身につくと思いますのでよろしくお願ひします。

☆ + ☆ +

～行事予定～

- ・書道教室…11日・25日〔年長〕
- ・お誕生日会…26日
- ・英語教室…10日
- ・避難訓練…12日
- ・身体測定…24日
- ・リミック…30日〔年少〕・16日〔年中・年長〕
- ・体操教室17日〔年少〕・29日〔年中・年長〕

☆ + ☆ +